

テーマ	総復習 (I)
-----	---------

1. 次の取引について仕訳しなさい。(復習問題)

〔商品の売買 (仕入取引)〕

- (1) 八尾商店から仕入れた商品の一部に品違いがあったため、返品した。この金額 ¥25,000 については、同店に対する買掛金と相殺することとした。
- (2) 先週掛けで仕入れた商品 60 個 (@¥10,000) のうち、本日、4 分の 1 を戻し、代金は掛代金から控除した。
- (3) 商品 ¥200,000 を仕入れ、代金のうち ¥50,000 はすでに支払ってある手付金で充当し、残高は掛けとした。
- (4) 商品 ¥400,000 を仕入れ、代金のうち ¥150,000 は掛けとし、残高は得意先花岡商店の引受けを得て、為替手形を振り出して支払った。なお、仕入れに要した諸掛 ¥6,000 は現金で支払った。
- (5) 阪南商店から商品 ¥350,000 を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。ただし、当座預金の残高は ¥210,000 であったが、東大阪銀行と当座借越契約を結んでおり、借越限度額は ¥600,000 である。なお、引取運賃 ¥5,000 は現金で支払った。なお、当座預金に関する仕訳は、二勘定制による。
- (6) 瓢箪山商店から商品 ¥700,000 を仕入れ、代金のうち ¥300,000 は得意先楽音寺商店を名宛人、瓢箪山商店を受取人とする為替手形 (引受済) を振り出して支払い、残りは小切手を振り出して支払った。なお、当座預金の預金残高は ¥220,000 であったが、同商店は取引銀行と ¥1,500,000 を限度とする当座借越契約を結んでいる。なお、当座預金に関する仕訳は、二勘定制による。
- (7) 八尾商店から商品 ¥360,000 を仕入れ、代金のうち ¥120,000 については、花岡商店振出し、阪南商店あて (引受済) の為替手形を裏書譲渡し、残高については小切手を振り出して支払った。なお、当座預金残高は ¥60,000 であったが、取引銀行と当座借越契約 (借越限度 ¥1,000,000) を結んである。なお、当座預金に関する仕訳は、一勘定制による。
- (8) 瓢箪山商店から商品 ¥600,000 を仕入れ、代金のうち ¥300,000 については得意先楽音寺商店振出し、北本町商店あての為替手形を裏書譲渡し、残高については、かねてより売掛金のある得意先小金井商店あての為替手形を同店の引受けを得て振り出した。
- (9) 仕入先八尾商店から商品 ¥560,000 を仕入れ、代金のうち ¥150,000 については阪南商店振出し、花岡商店受取りの約束手形を裏書譲渡し、¥200,000 についてはかねてより売掛金のある得意先小金井商店を名宛人、八尾商店を受取人とする為替手形 (引受済) を振り出して支払い、残高は掛けとした。
- (10) 販売用のソファ@¥280,000 を 5 台購入し、代金は翌日に支払うことにした。なお、引取運賃 ¥9,000 は現金で支払った。
- (11) 家具卸売営業を営むヤマネ家具店は、販売用の机 15 台を @¥25,000 で山口商店から購入し、代金は翌月払いとした。そのさいの引取運賃 ¥20,000 は、現金で支払った。

〔商品の売買 (売上取引)〕

- (12) 得意先八尾商店に商品 ¥750,000 を売り上げた。代金のうち ¥320,000 はすでに受け取っていた手付金と相殺し、残高は掛けとした。
- (13) 得意先花岡商店に商品 ¥620,000 を売り上げ、代金のうち ¥90,000 はかねて受け取っていた手付金を充当し、¥150,000 は阪南商店が振り出した約束手形の裏書譲渡を受け、残高は掛けとした。
- (14) 商品 ¥600,000 の注文を受け、内金として現金 ¥150,000 を受け取った。
- (15) かねて下関商店より掛けで仕入れ、岩国商店に対して掛けで販売していた商品 60 ケース (取得原価 @¥7,500、売価 @¥10,000) のうち、5 ケースに汚損があったため、1 ケースあたり ¥1,400 の値引を承諾し、3 ケースについては品違いのため返品されてきた。
- (16) 宇部商店に商品 ¥230,000 を売り渡し、代金は内金 ¥30,000 を差し引き、残高は同店振出しの約束手形で受け取

テーマ	総復習 (I)
-----	---------

った。なお、発送のための諸費用（当店負担） ¥8,000 は現金で支払った。

- (17) 叔商店に商品 ¥720,000 を販売し、代金のうち ¥300,000 については同店振出し、当店あての約束手形で受け取り、¥150,000 については当店振出し、長州商店あての約束手形の裏書譲渡を受け、残額は月末に受け取ることにした。なお、そのさいの発送運賃 ¥12,000 については小切手を振り出して立替払いした。

〔資本の引き出し〕

- (18) 店主の生命保険料 ¥70,000 と店舗兼住居用の建物の火災保険料 ¥210,000 について、当座預金口座より引き落とされた旨の通知が取引銀行からあった。ただし、火災保険料のうち 20%分は店主個人住居部分に対してである。
- (19) 営業用の自動車に係る自動車税 ¥25,000 と事業主の所得税 ¥115,000 を郵便局で現金で納付した。
- (20) 営業用店舗兼自宅に対する固定資産税 ¥320,000 の納税通知書が送付されてきたため、小切手を振り出して納付した。なお、この税金のうち 30%は家計の負担である。

〔固定資産の購入〕

- (21) 店舗拡張のため、土地 200 m²を 1 m²につき ¥15,000 で購入し、登記料 ¥52,000 および仲介手数料 ¥63,000 とともに、代金は小切手を振り出して支払った。
- (22) 備品 ¥500,000 を購入し、代金のうち ¥200,000 は、小切手を振り出して支払い、残額は翌月末に支払うことにした。なお、備品の引取運賃 ¥60,000 と据付費 ¥25,000 は、現金で支払った。
- (23) オフィス機器 ¥400,000 と事務用消耗品 ¥50,000 を購入した。代金のうち ¥250,000 は、小切手を振り出して支払い、残額が翌月末からの 5 回払いとした。なお、消耗品は購入時に資産処理している。

〔固定資産の売却〕

- (24) 不要となった備品（取得原価 ¥300,000、減価償却累計額 ¥189,000、間接法で記帳）を期首に処分し、売却代金 ¥60,000 は後日に受け取ることにした。
- (25) 備品（取得原価 ¥700,000、減価償却の累計額 ¥504,000）を ¥300,000 で売却し、代金を小切手で受け取った。なお、減価償却は直接法により処理されているものとする。
- (26) 営業用の自動車（取得原価 ¥1,250,000 残存価額 取得原価の 10%、耐用年数 5 年）を 4 年間使用し、すでに 4 期（決算 年 1 回）にわたって減価償却をしてきたが、この自動車を ¥250,000 で売却し、代金は月末に受け取ることにした。ただし、減価償却費の計算は定額法、記帳は間接法を用いている。

〔給料の支払い〕

- (27) 従業員に対する今月分の給料 ¥230,000 の支払いにさいし、かねて従業員の生命保険料として立て替え払いしていた金額 ¥25,000 を差し引き、残額は現金で支払った。
- (28) 従業員への給料の支払いにあたって、給料総額 ¥310,000 のうち、先に立替払いしていた従業員の生命保険料 ¥15,000 と、所得税の源泉徴収分 ¥20,000 を差し引き、残額を当座預金口座から従業員の普通預金口座へ振り込んだ。
- (29) 今月の給料支給総額 ¥3,120,000 から、従業員に対する貸付金の返済額 ¥100,000 およびその利息 ¥8,000 を差し引き、手取り金を当座預金口座から振り込んだ。

〔内容不明の入金〕

- (30) 取引先八尾商店より当座預金口座に ¥70,000 の入金があったが、その内容は不明である。

テーマ	総復習 (I)
-----	---------

- (31) 得意先花岡商店から商品 ¥500,000 の注文を受け、本日同商店から当座預金口座に ¥60,000 の振込みがあった。この振込額のうち、¥40,000 については、注文品の内金であるが、残額については原因不明のため、現在同店に対して問い合わせ中である。
- (32) 先月仮受金として処理していた内容不明の当座入金額は、阪南商店から注文を受けたさいの手付金の受取額 ¥70,000 と茗荷谷商店に対する掛代金の回収額 ¥30,000 であることが判明した。

〔現金の過不足〕

- (33) 従業員が立て替えていた電車賃 ¥500 を現金で支払っていたが、未記帳であることが判明した。なお、昨日、週1回の現金実査を行い、現金過不足勘定の借方に ¥700 の記入を行っている。雑損または雑益への振り替えは、決算日に行うこととしている。
- (34) 現金の実際残高が帳簿残高より多かったため、現金過不足勘定で処理されていた ¥12,600 のうち、¥6,500 は受取手数料の記入漏れであることが決算日にいたり判明した。残高については不明のため、適当な科目に振り替えることにした。
- (35) 現金の実際有高が帳簿残高より ¥20,000 不足していたため、かねて現金過不足勘定で処理しておいたが、その原因を調査したところ、通信費 ¥25,000 が記入漏れであること、ならびに保険料の支払額 ¥89,000 を ¥98,000 と誤記入していたことが判明した。なお、残額については原因不明のため、雑損または雑益として処理することとした。

〔小口現金〕

- (36) 小口現金係から、旅費交通費 ¥56,000、消耗品費 ¥91,000 および雑費 ¥27,000 の小口現金の使用について報告を受け、同額の小切手を振り出して補給した。なお、当店は、小口現金について定額資金前渡制度を採用している。
- (37) 小口現金係から、次のように支払の報告を受けたため、ただに小切手を振り出して資金を補給した。なお、当店では定額資金前渡制度（インプレスト・システム）により、小口現金係から毎週金曜日に一週間の支払報告を受け、これにもとづいて資金を補給している。

通信費	¥7,200	消耗品費	¥5,810	雑費	¥620
-----	--------	------	--------	----	------

- (38) 月末に、会計係は、小口現金係から本月分の小口現金の支払高について、次のとおり報告を受けたので、ただちに、小切手を振り出して資金の補給をした。

ただし、定額資金前渡法を採用している。

通信費	¥42,000	消耗品費	¥21,400
-----	---------	------	---------

〔商品券と他店商品券〕

- (39) 商品 ¥70,000 を売り渡し、代金のうち ¥30,000 は当店発行の商品券で受け取り、残額は現金で受け取った。
- (40) 商品券の精算をするため、当店が保有している他店商品券 ¥150,000 と、他店の保有している当店発行の商品券 ¥170,000 とを交換し、差額については現金で決済した。

テーマ	総復習 (I)
-----	---------

2. 次の取引について仕訳しなさい。(日商3級過去問)

- (1) 得意先山口商店に対する売掛金 ¥300,000 を回収し、そのうち ¥200,000 は山口商店の得意先である宇部商店が振り出した約束手形で受け取り、残額は当座預金口座に振り込まれた。
- (2) 得意先岩国商店に商品 ¥500,000 を売り上げた。代金のうち ¥200,000 はすでに受け取っていた手付金と相殺し、残額は掛けとした。
- (3) 営業用の自動車に係る自動車税 ¥30,000 と事業主の所得税 ¥80,000 を郵便局で現金で納付した。
- (4) 従業員が立て替えていた電車賃 ¥600 を現金で支払っていたが、未記帳であることが判明した。なお、昨日、週1回の現金実査を行い、現金過不足勘定の借方に ¥800 の記入を行っている、雑損または雑益への振り替えは、決算日に行うこととしている。
- (5) 販売用の実務机 @¥300,000 を4台購入し、代金は翌月に支払うこととした。なお、引取運賃 ¥8,000 は現金で支払った。
- (6) 仕入先徳島商店から商品 ¥640,000 を仕入れ、代金のうち ¥300,000 については鳥取商店振出し、石川商店受取りの約束手形を裏書譲渡し、¥250,000 についてはかねてより売掛金のある得意先富山商店を名宛人、徳島商店を受取人とする為替手形(引受済)を振り出して支払い、残額は掛けとした。
- (7) すでに普通預金口座を開設している東西銀行品川支店に、新たに当座預金口座を開設し、普通預金から ¥200,000 を引き出して、当座預金に預け入れた。同時に、借越限度額を ¥500,000 とする当座借越契約も結んだ。なお、当座預金からの借越については、当座借越勘定を用いることとした。
- (8) 得意先新潟商店から商品 ¥300,000 の注文を受け、本日同商店から当座預金口座に ¥40,000 の振込みがあった。この振込額のうち、¥30,000 については注文品の内金であるが、残額については原因不明のため、現在同店に対して問い合わせ中である。
- (9) 小口現金係から、次のように支払いの報告を受けたため、ただちに小切手を振り出して資金を補給した。なお、当店で定額資金前渡制度(インプレスト・システム)により、小口現金係から毎週金曜日に一週間の支払い報告を受け、これにもとづいて資金を補給している。

通信費 ¥6,700	消耗品費 ¥4,320	雑費 ¥780
------------	-------------	---------
- (10) かねて仕入先愛媛商店から商品 ¥500,000 を仕入れ、代金のうち ¥400,000 については同店振出し、当店あての為替手形を呈示されたため、それを引き受け、残額については全額掛けとして処理していたが、本日、本商品注文時に ¥50,000 を内金として支払っていたことが判明したため、訂正を行うこととした。なお、この取引から生じた買掛金について、決済は行われていない。
- (11) 仕入先山口商店から ¥80,000 の為替手形の引受けを求められたので、これに記名押印して同店に渡した。なお、当店はこの仕入先に対して、¥200,000 の商品代金の未払いがある。
- (12) 従業員10名が負担すべき当月分の生命保険料 ¥350,000 を小切手を振り出して支払った。当月末にこの生命保険料は、従業員の給料(総額 ¥3,800,000)から差し引くこととした。
- (13) 近くの電器店からオフィス機器 ¥300,000 と事務用消耗品 ¥35,000 を購入した。代金のうち ¥135,000 は、小切手を振り出して支払い、残額は翌月末からの5回払いとした。
- (14) 先週掛けて仕入れた商品60個(@¥20,000)のうち、本日、3分の1を戻し、代金は掛代金から控除した。
- (15) 小口現金係から、旅費交通費 ¥30,000、消耗品費 ¥89,000 および雑費 ¥13,000 の小口現金の費用について報告を受け、同額のの小切手を振り出して補給した。なお、当店は、小口現金について定額資金前渡制度を採用している。
- (16) 商品券の精算をするため、当店は保有している他店商品券 ¥120,000 と、他店の保有している本店発行の商品券 ¥150,000 とを交換し、差額については現金で決済した。
- (17) 店主の生命保険料 ¥65,000 と店舗兼住居用の建物の火災保険料 ¥180,000 について、当座預金口座より引き落と

テーマ	総復習 (I)
-----	---------

された旨の通知が取引銀行からあった。ただし、火災保険料のうち 30%分は店主個人住居部分に対してである。

- (18) かねて福岡商店より掛けで仕入れ、神奈川商店に対して掛けで販売していた商品 55 ケース (取得原価 @ ¥9,500、売価 @ ¥12,000) のうち、5 ケースに汚損があったため、1 ケースあたり ¥1,200 の値引を承諾し、8 ケースについては品違いのため返品されてきた。
- (19) 今月の給料支給総額 ¥2,750,000 から、従業員に対する貸付金の返済額 ¥500,000 およびその利息 ¥7,500 を差し引き、手取額を当座預金口座から振り込んだ。
- (20) 長崎商店から商品 ¥240,000 を仕入れ、代金のうち ¥100,000 については、兵庫商店振出し、富山商店あて (引受済) の為替手形を裏書譲渡し、残額については小切手を振り出して支払った。なお、当座預金残高は ¥80,000 であったが、取引銀行と当座借越契約 (借越限度 ¥500,000) を結んである。
- (21) 現金の実際残高が帳簿残高より多かったため、現金過不足勘定で処理されていた ¥8,500 のうち、¥7,000 は受取手数料の記入漏れであることが決算日にいたり判明した。残額については不明のため、適当な科目に振り替えることにした。
- (22) 商品 ¥65,000 を掛けで売り渡した取引を、借方、貸方とも誤って ¥56,000 と記入されていたので、正しい金額に修正をした。
- (23) 商品 ¥100,000 を仕入れ、代金のうち ¥30,000 はすでに支払ってある手付金で充当し、残額は掛けとした。
- (24) 不要となった備品 (取得原価 ¥200,000、減価償却累計額 ¥90,000、間接法で記帳) を期首に処分し、売却代金 ¥30,000 は後日に受け取ることにした。
- (25) 従業員の出張にさいし、旅費の概算額 ¥50,000 を現金で手渡した。
- (26) 栃木商店へ商品 ¥500,000 を売り渡し、代金のうち ¥300,000 については、かねて本店が群馬商店を受取人、茨城商店を名宛人として振り出した為替手形を裏書譲渡され、残額については月末に受け取ることにした。なお、栃木商店負担の発送運賃 ¥5,000 については小切手を振り出して立替払いした。
- (27) 営業用の建物を ¥4,500,000 で購入し、代金は当月末に支払うこととした。なお、仲介手数料 ¥120,000 については、小切手を振り出して支払った。
- (28) 前月末に得意先より ¥200,000 が当座預金に振り込まれ、その内容が不明であったため仮受金として処理していたが、本日得意先から連絡が入り、その内訳が売掛金の回収額 ¥150,000 と注文を受けた商品 ¥500,000 に対する内金 ¥50,000 であることが判明した。
- (29) 前期に生じた売掛金 ¥250,000 が得意先の倒産により回収できなくなったため、貸倒れとして処理する。なお、貸倒引当金の残高は ¥210,000 である。
- (30) 当期中に売買目的で取得した札幌通信株式会社株式 5,000 株 (1 株当たり購入単価: ¥960、その他に購入時に証券会社へ支払った手数料は総額で ¥25,000) のうち、3,000 株を 1 株につき ¥963 で売却し、代金は月末に受け取ることにした。
- (31) 決算にあたり、現金の手許有高を調べたところ、帳簿残高は ¥280,000 であるのに対して、実際有高は ¥275,000 であった。この現金不足額のうち ¥3,300 は、従業員個人が負担すべき交通費を店の現金で肩代わりして支払った取引が未記帳であったためであると判明したが、残りの現金不足額の原因は不明である。
- (32) 商品 ¥120,000 を仕入れ、代金のうち ¥100,000 については、売掛金のある得意先を名宛人とする為替手形を振り出し、得意先の引受を得て渡し、残額は掛けとした。
- (33) 前期に貸倒れとして処理した売掛金 ¥80,000 のうち、¥60,000 が回収され、当座預金の口座に振り込まれた。なお、貸倒引当金勘定の残高は ¥40,000 である。
- (34) 給料日に、従業員に対する給料から所得税の源泉徴収額 ¥20,000 を差し引き、手取金 ¥180,000 を当座預金の口座から振り替えて従業員に支払った。

テーマ	総復習 (I)
-----	---------

- (35) 水道光熱費 ¥50,000 と事業主の所得税 ¥210,000 を当座預金の口座から振り替えて支払った。なお、水道光熱費のうち ¥20,000 は、事業主個人の家計が負担すべき金額である。
- (36) 当期首に売買目的のため 1 株 ¥650 で購入した東北産業株式会社の株式 5,000 株のうち、3,000 株を 1 株 ¥610 で売却し、代金は当座預金口座に振り込まれた。
- (37) 備品 ¥200,000 を柏商店より購入し、代金のうち ¥40,000 は小切手を振り出して支払い、残額については毎月末の 4 回分割払いとした。
- (38) 前期の決算整理にともない計上した未収利息 ¥18,000 につき、当期首に再振替仕訳を行った。
- (39) 事務用文房具を浦和商店より購入し、代金 ¥50,000 は現金で支払った。なお、当店では文房具については決算時に棚卸を行い、当期の使用額を費用に振り替える方法をとっている。
- (40) 商品 ¥50,000 を売り上げ、代金のうち ¥30,000 は当店発行の商品券で、残額は現金で受け取った。
- (41) 以前に売上代金の一部として受け取っていた得意先振り出しの約束手形 ¥15,000 を取引銀行で割り引き、割引料 ¥300 を差し引かれた手取金は当座預金とした。
- (42) 売買を目的として、他社が発行する株式 1,000 株を 1 株当たり ¥60 で買入れ、代金は証券会社に対する売買手数料 ¥1,000 とともに小切手を振り出して支払った。
- (43) 約束手形を振り出して ¥200,000 を借入れ、その金額が当座預金の口座に振り込まれた。
- (44) 従業員が出張から戻ったので、旅費の精算を行い、残金 ¥13,000 を現金で受け取り、直ちに当座預金に預け入れた。なお、従業員に対しては、出張にあたり、旅費の概算額 ¥80,000 を手渡していた。
- (45) 以前に購入していた土地（購入価格 ¥520,000、購入手数料 ¥12,000）を ¥550,000 で売却し、代金は後日受け取ることにした。
- (46) 関東商店から商品 ¥80,000 を仕入れ、代金のうち ¥50,000 は、かねて受け取っていた関西商店振出しの約束手形を裏書譲渡し、残金は掛けとした。
- (47) 商品 ¥60,000 を売り出し、代金のうち ¥40,000 は、当店と連盟している北海道商店の商品券で受け取り、残額は当店発行の商品券で受け取った。
- (48) 期首に備品（取得原価 ¥300,000、減価償却累計額 ¥162,000、間接法で記帳）を ¥130,000 で売却し、代金は後日受け取ることにした。
- (49) 九州商店に対して商品 ¥30,000 を注文し、手付金として ¥10,000 の小切手を振り出して渡した。得意先が倒産し、前期から繰り越された売掛金 ¥40,000 が回収できなくなったので、貸倒れの処理を行う。なお、貸倒引当金の残額は ¥30,000 である。

テーマ	総復習 (I)
-----	---------

1.

	借方	貸方
(1)	買掛金 25,000	仕入 25,000
(2)	買掛金 150,000	仕入 150,000
(3)	仕入 200,000	前払金 50,000 買掛金 150,000
(4)	仕入 406,000	買掛金 150,000 売掛金 250,000 現金 6,000
(5)	仕入 355,000	当座預金 210,000 当座借越 140,000 現金 5,000
(6)	仕入 700,000	売掛金 300,000 当座預金 220,000 当座借越 180,000
(7)	仕入 360,000	受取手形 120,000 当座 240,000
(8)	仕入 600,000	受取手形 300,000 売掛金 300,000
(9)	仕入 560,000	受取手形 150,000 売掛金 200,000 買掛金 210,000
(10)	仕入 1,409,000	買掛金 1,400,000 現金 9,000
(11)	仕入 395,000	買掛金 375,000 現金 20,000
(12)	前受金 320,000 売掛金 430,000	売上 750,000
(13)	前受金 90,000 受取手形 150,000 売掛金 380,000	売上 620,000

テーマ	総復習 (I)
-----	---------

(14)	現金	150,000	前受金	150,000
(15)	売上	37,000	売掛金	37,000
(16)	前受金 受取手形 発送費	30,000 200,000 8,000	売上 現金	230,000 8,000
(17)	受取手形 支払手形 売掛金 立替金	300,000 150,000 270,000 12,000	売上 当座預金	720,000 12,000
(18)	資本金 (引出金) 支払保険料	112,000 168,000	当座預金	280,000
(19)	資本金 (引出金) 租税公課	115,000 25,000	現金	140,000
(20)	資本金 (引出金) 租税公課	96,000 224,000	当座預金	320,000
(21)	土地	3,115,000	当座預金	3,115,000
(22)	備品	585,000	当座預金 未払金 現金	200,000 300,000 85,000
(23)	備品 消耗品	400,000 50,000	当座預金 未払金	250,000 200,000
(24)	備品減価償却累計額 未収金 固定資産売却損	189,000 60,000 51,000	備品	300,000
(25)	現金	300,000	備品 固定資産売却益	196,000 104,000
(26)	車両減価償却累計額 未収金 固定資産売却損	900,000 250,000 100,000	車両	1,250,000

テーマ	総復習 (I)
-----	---------

(27)	給料 230,000	従業員立替金(立替金) 現金 25,000 205,000
(28)	給料 310,000	従業員立替金(立替金) 従業員預り金(預り金) 当座預金 15,000 20,000 275,000
(29)	給料 3,120,000	従業員貸付金(貸付金) 受取利息 当座預金 100,000 8,000 3,012,000
(30)	当座預金 70,000	仮受金 70,000
(31)	当座預金 60,000	前受金 仮受金 40,000 20,000
(32)	仮受金 100,000	前受金 売掛金 70,000 30,000
(33)	旅費交通費 500	現金過不足 500
(34)	現金過不足 12,600	受取手数料 雑益 6,500 6,100
(35)	通信費 雑損 25,000 4,000	現金過不足 支払保険料 20,000 9,000
(36)	旅費交通費 消耗品費 雑費 56,000 91,000 27,000	当座預金 174,000
(37)	通信費 消耗品費 雑費 7,200 5,810 620	当座預金 13,630
(38)	通信費 消耗品費 42,000 21,400	当座預金 63,400
(39)	商品券 現金 30,000 40,000	売上 70,000
(40)	商品券 170,000	他店商品券 現金 150,000 20,000

テーマ	総復習 (I)
-----	---------

2.

	借方		貸方	
(1)	受取手形 当座預金	200,000 100,000	売掛金	300,000
(2)	前受金 売掛金	200,000 300,000	売上	500,000
(3)	租税公課 資本金	30,000 80,000	現金	110,000
(4)	旅費交通費	600	現金過不足	600
(5)	仕入	1,208,000	買掛金 現金	1,200,000 8,000
(6)	仕入	640,000	受取手形 売掛金 買掛金	300,000 250,000 90,000
(7)	当座預金	200,000	普通預金	200,000
(8)	当座預金	40,000	前受金 仮受金	30,000 10,000
(9)	通信費 消耗品費 雑費	6,700 4,320 780	当座預金	11,800
(10)	買掛金	50,000	前払金	50,000
(11)	買掛金	80,000	支払手形	80,000
(12)	従業員立替金	350,000	当座預金	350,000
(13)	備品 消耗品費	300,000 35,000	当座預金 未払金	135,000 200,000

テーマ	総復習 (I)
-----	---------

(14)	買掛金	400,000	仕入	400,000
(15)	旅費交通費 消耗品費 雑費 小口現金	30,000 89,000 13,000 132,000	小口現金 当座預金	132,000 132,000
(16)	商品券	150,000	他店商品券 現金	120,000 30,000
(17)	保険料 資本金	126,000 119,000	当座預金	245,000
(18)	売上	102,000	売掛金	102,000
(19)	給料	2,750,000	従業員貸付金 受取利息 当座預金	500,000 7,500 2,242,500
(20)	仕入	240,000	受取手形 当座預金 当座借越	100,000 80,000 60,000
(21)	現金過不足	8,500	受取手数料 雑益	7,000 1,500
(22)	売掛金	9,000	売上	9,000
(23)	仕入	100,000	前払金 買掛金	30,000 70,000
(24)	備品減価償却累計額 未収金 固定資産売却損	90,000 30,000 80,000	備品	200,000
(25)	仮払金	50,000	現金	50,000
(26)	受取手形 売掛金	300,000 205,000	売上 当座預金	500,000 5,000
(27)	建物	4,620,000	未払金 当座預金	4,500,000 120,000

テーマ	総復習 (I)
-----	---------

(28)	仮受金 200,000	売掛金 前受金 150,000 50,000
(29)	貸倒引当金 貸倒損失 210,000 40,000	売掛金 250,000
(30)	未収金 有価証券売却損 2,889,000 6,000	売買目的有価証券 2,895,000
(31)	従業員立替金 雑損 3,300 1,700	現金 5,000
(32)	仕入 120,000	売掛金 買掛金 100,000 20,000
(33)	当座預金 60,000	償却債権取立益 60,000
(34)	給料 200,000	所得税預り金 当座預金 20,000 180,000
(35)	水道光熱費 引出金 30,000 230,000	当座預金 260,000
(36)	当座預金 有価証券売却損 1,830,000 120,000	売買目的有価証券 1,950,000
(37)	備品 200,000	当座預金 未払金 40,000 160,000
(38)	受取利息 18,000	未収利息 18,000
(39)	消耗品 50,000	現金 50,000
(40)	商品券 現金 30,000 20,000	売上 50,000
(41)	当座預金 手形売却損 14,700 300	受取手形 15,000
(42)	売買目的有価証券 61,000	当座預金 61,000

テーマ	総復習 (I)		
-----	---------	--	--

(43)	当座預金	200,000	手形借入金	200,000
(44)	当座預金 旅費交通費	13,000 67,000	仮払金	80,000
(45)	未収金	550,000	土地 固定資産売却益	532,000 18,000
(46)	仕入	80,000	受取手形 買掛金	50,000 30,000
(47)	他店商品券 商品券	40,000 20,000	売上	60,000
(48)	備品減価償却累計額 未収金 固定資産売却損	162,000 130,000 8,000	備品	300,000
(49)	前払金	10,000	当座預金	10,000
(50)	貸倒引当金 貸倒損失	30,000 10,000	売掛金	40,000